

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2007-330647(P2007-330647A)

【公開日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-050

【出願番号】特願2006-168304(P2006-168304)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月19日(2009.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域内に配置された始動入賞口に遊技球が入賞したことを検出する入賞検出手段と、該入賞検出手段による遊技球の検出に基づいて識別情報を変動表示する変動表示手段と、を備え、前記変動表示手段で変動表示される識別情報の表示結果によって遊技者に利益を付与する利益付与状態に制御するか否かを認識させる遊技機であって、

前記入賞検出手段による遊技球の検出に基づいて遊技者に利益を付与すべきか否かの判定を行う当落判定手段、及び該当落判定手段により遊技者に利益を付与すべき判定がなされたことに基づいて前記利益付与状態に制御する利益付与状態制御手段を含み、遊技機の主要な遊技制御を行うマイクロコンピュータを搭載した主基板と、

前記主基板とは別に構成されると共に、前記当落判定手段の判定結果に基づいて前記変動表示手段にて識別情報の変動表示を行って所定期間経過後に前記判定結果に応じた識別情報の表示結果を停止表示すると共に前記当落判定手段により遊技者に利益を付与すべき判定がなされたときに識別情報の表示結果として特定表示結果を停止表示する変動表示制御手段を含み、前記主基板から受信するコマンド信号に基づいた制御を行うマイクロコンピュータを搭載した周辺基板と、を備え、

前記主基板は、

複数種類の変動表示態様を記憶する変動表示態様記憶手段と、

前記当落判定手段の判定結果に基づいて前記変動表示態様記憶手段に記憶された複数種類の変動表示態様のうちいずれかの変動表示態様に決定する変動表示態様決定手段と、を含み、

前記変動表示制御手段は、

前記周辺基板が前記主基板から受信する前記変動表示態様決定手段により決定された変動表示態様に関わる変動表示コマンド信号に基づいて前記識別情報を変動表示すると共に、

前記複数種類の変動表示態様における各変動表示コマンド信号を個別のコマンド信号として処理する個別コマンド処理手段と、

該個別コマンド処理手段の処理に基づく第 1 の演出態様で前記識別情報を変動表示する第 1 演出態様制御手段と、

前記複数種類の変動表示態様において少なくとも 2 種類以上の変動表示態様の変動表示

コマンド信号を同一のコマンド信号として処理する同一コマンド処理手段と、

前記第1の演出態様とは異なり且つ前記同一コマンド処理手段の処理に基づく第2の演出態様で前記識別情報を変動表示する第2演出態様制御手段と、を含むことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記同一コマンド処理手段は、前記複数種類の変動表示態様においてほぼ同一の変動表示時間となる変動表示態様の変動表示コマンド信号を同一のコマンド信号として処理することを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記変動表示態様記憶手段は、前記ほぼ同一の変動表示時間となる変動表示態様を複数種類記憶し、前記同一コマンド処理手段は、前記ほぼ同一の変動表示時間となる変動表示態様の種類毎で個々に各変動表示態様の変動表示コマンド信号を同一のコマンド信号として処理することを特徴とする請求項2記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

(解決手段1)

上記目的を達成するために、請求項1の発明においては、遊技領域内に配置された始動入賞口に遊技球が入賞したことを検出する入賞検出手段と、該入賞検出手段による遊技球の検出に基づいて識別情報を変動表示する変動表示手段と、を備え、前記変動表示手段で変動表示される識別情報の表示結果によって遊技者に利益を付与する利益付与状態に制御するか否かを認識させる遊技機であって、前記入賞検出手段による遊技球の検出に基づいて遊技者に利益を付与すべきか否かの判定を行う当落判定手段、及び該当落判定手段により遊技者に利益を付与すべき判定がなされたことに基づいて前記利益付与状態に制御する利益付与状態制御手段を含み、遊技機の主要な遊技制御を行うマイクロコンピュータを搭載した主基板と、前記主基板とは別に構成されると共に、前記当落判定手段の判定結果に基づいて前記変動表示手段にて識別情報の変動表示を行って所定期間経過後に前記判定結果に応じた識別情報の表示結果を停止表示すると共に前記当落判定手段により遊技者に利益を付与すべき判定がなされたときに識別情報の表示結果として特定表示結果を停止表示する変動表示制御手段を含み、前記主基板から受信するコマンド信号に基づいた制御を行うマイクロコンピュータを搭載した周辺基板と、を備え、前記主基板は、複数種類の変動表示態様を記憶する変動表示態様記憶手段と、前記当落判定手段の判定結果に基づいて前記変動表示態様記憶手段に記憶された複数種類の変動表示態様のうちいずれかの変動表示態様に決定する変動表示態様決定手段と、を含み、前記変動表示制御手段は、前記周辺基板が前記主基板から受信する前記変動表示態様決定手段により決定された変動表示態様に関わる変動表示コマンド信号に基づいて前記識別情報を変動表示すると共に、前記複数種類の変動表示態様における各変動表示コマンド信号を個別のコマンド信号として処理する個別コマンド処理手段と、該個別コマンド処理手段の処理に基づく第1の演出態様で前記識別情報を変動表示する第1演出態様制御手段と、前記複数種類の変動表示態様において少なくとも2種類以上の変動表示態様の変動表示コマンド信号を同一のコマンド信号として処理する同一コマンド処理手段と、前記第1の演出態様とは異なり且つ前記同一コマンド処理手段の処理に基づく第2の演出態様で前記識別情報を変動表示する第2演出態様制御手段と、を含むことを特徴とする。

この場合、個別コマンド処理手段の処理に基づく第1の演出態様と、同一コマンド処理手段の処理に基づく第2の演出態様とによって識別情報を変動表示する構成にでき、然も、第2の演出態様による演出時には、複数種類の変動表示態様において少なくとも2種類以上の変動表示態様の変動表示コマンド信号を同一のコマンド信号として処理するので、

複数種類の変動表示コマンド信号に対して個別の表示用データを用意しておく必要がなく、ひいては周辺基板の制御負担を軽減した上で、変動表示手段による演出表示を多様化することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(解決手段 3)

解決手段 1 又は解決手段 2 において、前記同一コマンド処理手段は、前記複数種類の変動表示態様においてほぼ同一の変動表示時間となる変動表示態様の変動表示コマンド信号を同一のコマンド信号として処理することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

この場合、複数種類の変動表示態様においてほぼ同一の変動表示時間となる変動表示態様の変動表示コマンド信号を同一のコマンド信号として処理するので、複数種類の変動表示コマンド信号に対して個別の表示用データを用意しておく必要がなく、ひいては周辺基板の制御負担を軽減した上で、変動表示手段による演出表示を多様化することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(解決手段 4)

解決手段 3 において、前記変動表示態様記憶手段は、前記ほぼ同一の変動表示時間となる変動表示態様を複数種類記憶し、前記同一コマンド処理手段は、前記ほぼ同一の変動表示時間となる変動表示態様の種類毎で個々に各変動表示態様の変動表示コマンド信号を同一のコマンド信号として処理することを特徴とする請求項 2 記載の遊技機。

この場合、ほぼ同一の変動表示時間となる変動表示態様を複数種類設定した上で、当該複数種類の変動表示態様毎で個々に変動表示コマンド信号を同一のコマンド信号として処理するので、周辺基板の制御負担を増大することなく、個別コマンド処理手段の処理に基づく第 1 の演出態様となる変動表示態様をより多様化することができる。